

連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日
営業収益 Point ①	613,526	617,298
営業原価	576,282	582,430
営業総利益	37,244	34,867
販売費及び一般管理費	14,568	16,833
営業利益 Point ②	22,676	18,034
営業外収益	1,377	1,490
営業外費用	746	598
経常利益	23,307	18,926
特別利益	—	50
特別損失	9,798	1,467
税金等調整前四半期純利益	13,509	17,509
法人税等	7,537	9,523
少数株主損益調整前四半期純利益	5,971	7,986
少数株主利益又は少数株主損失	94	△ 97
四半期純利益 Point ③	5,877	8,083

ポイント解説

Point ①

デリバリー事業において法人のお客様を中心とした宅急便取扱数量が好調に推移したことが要因となり、営業収益は前年同期に比べ0.6%増加の6,172億98百万円となりました。

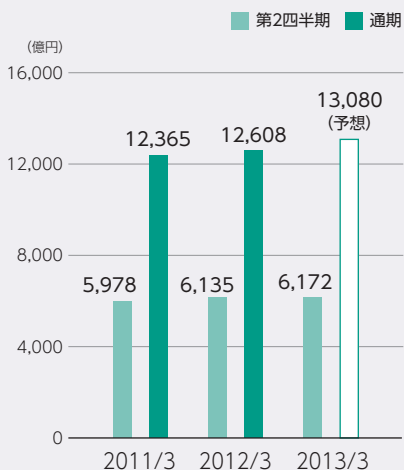
Point ②

集配業務の改革に向けた取組みに伴う先行的な費用の増加などが影響した結果、営業利益は前年同期に比べ20.5%減少の180億34百万円となりました。

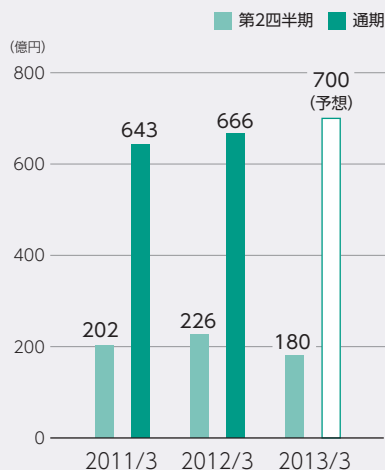
Point ③

復興支援に係る寄付金や投資有価証券評価損などの特別損失が減少したことに伴い、四半期純利益は前年同期に比べ37.5%増加の80億83百万円となりました。

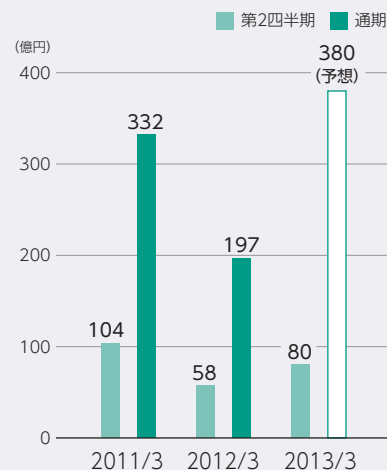
営業収益



営業利益



四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2012年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2012年9月30日
[資産の部]		
流動資産	464,455	447,138
固定資産	454,839	455,765
有形固定資産	375,179	380,625
無形固定資産	16,794	17,175
投資その他の資産	62,865	57,964
資産合計 Point 1	919,294	902,903
[負債の部]		
流動負債	282,343	262,583
固定負債	113,167	114,564
負債合計 Point 2	395,510	377,147
[純資産の部]		
株主資本	513,897	517,061
その他の包括利益累計額	1,099	155
少数株主持分	8,787	8,538
純資産合計 Point 3	523,783	525,755
負債純資産合計	919,294	902,903

ポイント解説

Point 1

有形固定資産の取得に係る支払い等により現金及び預金が減少したことにより、総資産は前連結会計年度末に比べ163億90百万円減少の9,029億3百万円となりました。

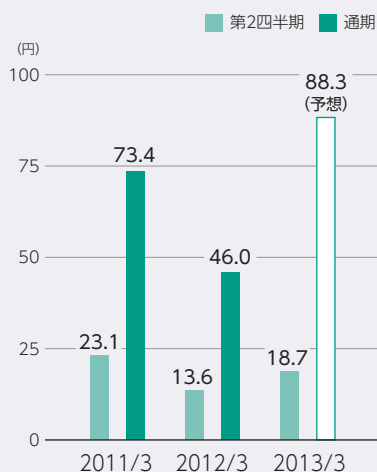
Point 2

固定資産の取得に係る支払い等によりその他流動負債が122億38百万円減少したことなどにより、負債は前連結会計年度末に比べ183億63百万円減少の3,771億47百万円となりました。

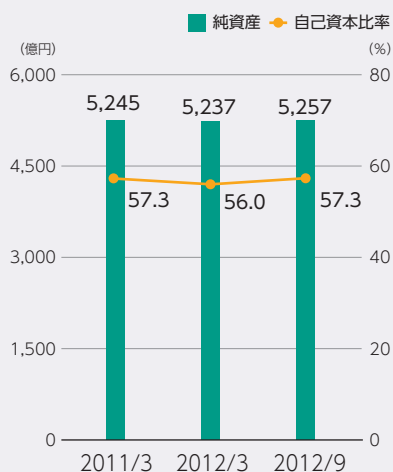
Point 3

四半期純利益の増加や剰余金の配当の実施に伴い利益剰余金が増加したことにより、純資産は前連結会計年度末に比べ19億72百万円増加の5,257億55百万円となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益



純資産/自己資本比率



用語解説

自己資本比率について

自己資本比率は、総資産に占める自己資本の割合を示し、自己資本比率が高いほど資本構成が安定しており経営の安全度が高いことを示します。

自己資本比率を計算する際の自己資本は、株主から出資された出資金、剰余金、準備金、自己株式等から構成されています。

●算出方法

$$\text{自己資本} \div \text{総資産} = \text{自己資本比率}$$

連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	26,150	16,993
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△24,499	△31,984
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△25,515	△4,864
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,832	△19,801
現金及び現金同等物の期首残高	208,791	208,393
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,949	1,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	186,909	189,995

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

ポイント解説

Point 1

主に仕入債務の増減額が減少したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ91億56百万円減少の169億93百万円の収入となりました。

Point 2

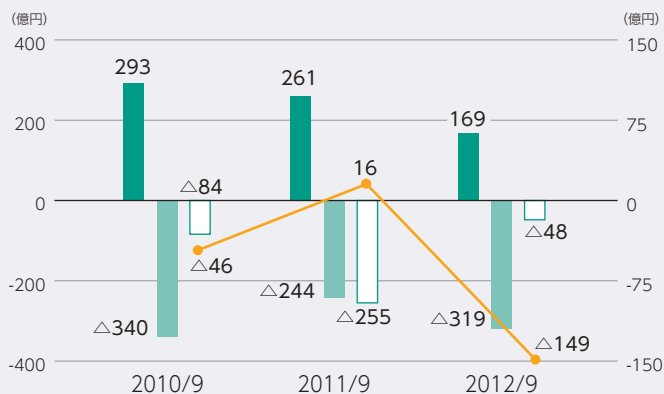
有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が74億84百万円増加し319億84百万円の支出となりました。

Point 3

自己株式の取得による支出が減少したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が206億50百万円減少し48億64百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(左軸) □ 財務活動によるキャッシュ・フロー(左軸)
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(左軸) ◆ フリー・キャッシュ・フロー(右軸)



用語解説

フリー・キャッシュ・フローとは？

フリー・キャッシュ・フローは、企業が事業活動から獲得したキャッシュから、企業が活動するのに必要なキャッシュを差し引いた余剰資金のことを指し、フリー・キャッシュ・フローが多いほど、経営状態のよい企業と判断されます。

●算出方法

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
+ (投資活動によるキャッシュ・フロー)
=フリー・キャッシュ・フロー